

岐阜県代協ニユ

2022年 2月

vol.323



一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会

『会長挨拶』

一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会

えんどう よしかつ

会長 遠藤 昌克

寒い2月もようやく終わろうとしています。この時期は雨水の時季、空から降るものが雪から雨に変わり、氷が溶けて水になり、昔から農耕の準備を始める目安とされてきました。しかし、本格的な春の訪れにはまだ遠く、今年も大雪が降ったりしています。三寒四温を繰り返し本格的な春がやってきますが、今年は本当に春が待ち遠しく感じられます。まさに『春よ 来い』です。

そんな中、冬季北京オリンピックが閉会しました。岐阜県ゆかりの3人の選手、世界の舞台で岐阜の力を見せつけて全員が銅メダル！本当におめでとうございます。

いろいろあったオリンピックも終わってみると感動のオリンピックではなかったで

しょうか。選手の笑顔に元気と感動をいただきました。最後のメダルを取った日本女子カーリング、こんなに楽しくプレーできるのかと思うくらいチームの明るいコミュニケーションは我々の仕事でも参考になりました。



さて、岐阜県代協の活動も「オミクロン株」の出現で活動がほぼWEBになってしまいましたが、今できることをできる形で活動しようと、1月25日には教育委員会主催の「日本代協アカデミーセミナー」開催され、日本代協石川委員長直々に講演をいただきました。また、東海ブロック主催（岐阜県代協が主管）人材育成セミナーを2月4日に開催し、野元日本代協専務理事の講演、それに伴うグループ討議、どのグループも活発な意見交換をいたしました。多くの参加者からとてもいいセミナーだったとお声をいただきました。ご協力いただきました皆様、ご参加いただきました皆様ありがとうございました。

その他の委員会活動は、2月17日に広報機関誌委員会の事業の一つとして、ぎふチャンTVを使った広報活動の収録をいたしました。「寄り添う岐阜県代協」①岐阜県代協の活動、②火災保険の請求のトラブルの2本を恥ずかしながら私が代表で出演して収録いたしました。

ちょうど、代協ニュースが発行される頃に放映されるかと思えます。どうかご覧ください。



また、現在取り組み中の「目指せ、三冠王！」は仲間

づくり・コンサルティングコース受講者の2つが必須で、これを達成しないとできません。コンサルティングコースの募集は20名となり目標人数を大きく超えましたが、重点取り組み項目で達成しても、仲間づくりであと9名の新会員入会がなければ達成できません。最後までご協力よろしくお願いたします。

新型コロナ感染も全く衰えを見せていません。第5波をはるかにしのぐ1日に1,000人以上の感染者数の日もあります。ピークを越えたという声もあがっていますが、蔓延防止も延長されています。どうかこれからもマスク、手洗い、『密』の回避等の基本の感染予防を徹底しての活動をお願いいたします。

1 p・・・会長挨拶／目次

2 p・・・スケジュール／事務局より

3 p・・・代理店紹介

4 p・・・中さんの保険諸国漫遊記 (190) ①

5 p・・・ ～保険ジャーナリスト ②

6 p・・・ 中崎章夫 ③

7 p・・・『街道シリーズ』（美濃路26） 松尾 一

8 p・・・提携事業者広告掲載①

9 p・・・提携事業者広告掲載②

10 p・・・提携事業者広告掲載③

11 p・・・会員投稿／支部活動報告

スケジュール/事務局より

～ スケジュール ～

日付			主催	行事・議題・内容など	開催場所
1	13	木	東濃	例会(11:30～)	みわ屋
	20	木	岐阜	役員会(13:00～)	Zoom 開催
	21	金	企画環境	委員会(10:30～)	Zoom 開催
	25	火	教育	『日本代協アカデミー』セミナー	Zoom 開催
2	2	水	県代協	理事会(13:30～)	Zoom 開催
	4	金	東海ブロック	人材育成セミナー	Zoom 開催
	7	月	CSR	委員会(10:30～)	Zoom 開催
	8	火	中濃	例会(10:30～)	太田交流センター
	8	火	飛騨	例会(11:30～)	ひだホテルプラザ来来飯店
	9	水	東濃	幹事会(11:00～)、例会(11:30～)	とんかつ遊庵
	15	火	東海ブロック	東海ブロック 会長専務理事会議(15:00～)	Zoom 開催
	16	水	東海ブロック	東海ブロック協議会(14:00～)	Zoom 開催
	22	火	岐阜	役員会(13:00～)	Zoom 開催
	25	金	広報機関誌	損害保険トータルプランナー 中日新聞広告	
3	2	水	西濃	例会(11:30～)	五右衛門
	8	火	中濃	例会(11:30～)	太田交流センター
	8	火	飛騨	例会(10:30～)	ひだホテルプラザ来来飯店
	10	木	東濃	例会(11:30～)	みわ屋
4	6	水	県代協	理事会(13:30～)	瑞穂総合センター(予定)

～ 広報機関誌委員会より ～

★ 岐阜県損害保険代理業協会 会員証作成について アンケートのお願い



2017年度より広報機関誌にて企画してまいりました岐阜県代協会員証作成についてですが、記載内容等を検討する中で、当初ご案内いたしました作成予定のカードとの相違点が多い形式となり、会員の皆様に岐阜県代協会員証の作成について賛否のご意見を再度お聞かせいただきたいと思います。

つきましては大変恐縮ではありますが、2月18日 FAXにてお願いをいたしましたアンケートですが、3月10日までに教えてくださいますようお願いいたします。お手数おかけいたしますがご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、ご不明な点がございましたら広報機関誌委員、県代協事務局までお尋ね下さい。

岐阜県代協事務局 TEL : 058-329-0050

FAX : 058-329-0040

Eメールアドレス : gfdaijyo@opal.ocn.ne.jp

(担当: 小川百合子)

代理店紹介

岐阜支部 有限会社 みずほ保険

<代理店名>
有限会社 みずほ保険

<所在地>
〒501-0455 本巣郡北方町高屋伊勢田 1-50-5
電話 058-322-5012
FAX 058-322-5013
E-mail mizuho@ag.sompo-japan.co.jp

<代表者>
寺田 茂

<スタッフ>
5名 (男 3名、女 2名)

<取扱保険会社>

損保 損害保険ジャパン株式会社、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 計 2社
生保 SOMPO ひまわり生命保険株式会社、三井住友海上あいおい生命保険株式会社、
日本生命保険相互会社 計 3社

<略歴>

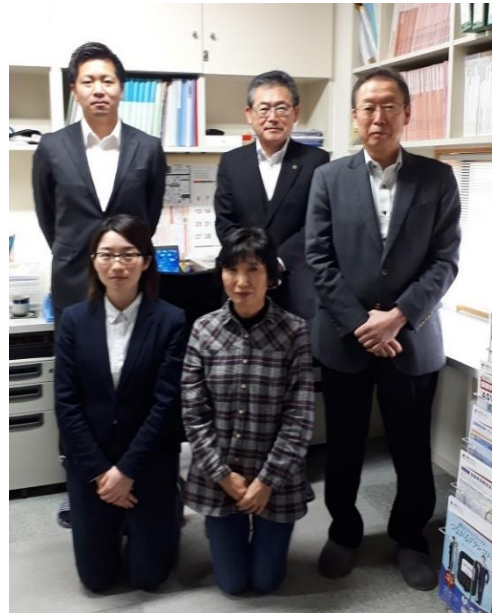
平成17年7月11日 開業

<事務所の環境>

本巣郡北方町グリーンロード沿いにあり、
岐阜市・大垣市に近く便利な場所です。

<経営方針>

お客様本位に徹し、安心を提供します。



代理店に求められる顧客のデジタル体験価値の向上

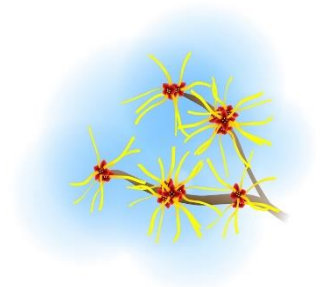
— まずは内部からのDX対応、RPA導入による生産性向上

◇春を告げる花

コロナ蔓延防止特別措置が続く地域におり、なかなか行動半径が広がらず忸怩たる思いで過ごしているが、そんな時は今住んでいる足元での活動に価値を見出そうと発想を変えるようにしている。

今年の冬は日本海側に豪雪東日本側も冷たい風が吹く厳しい寒さとなっている。そのためか花の開花時期が例年よりかなり遅れている。2月中旬過ぎてもまだウメがちらほら、例年なら満開なのでそれがわかる。そんな中で、住んでいる千葉県新松戸のマンション構内では1月末ごろから黄色のロウバイやマンサクの花が咲きだし今や満開で、ほっとする。

マンサクは春を手招きするかのような、ヒモ状の黄色い可憐な花で、2～3月が花期。名前の由来の一つが「先ず咲く」「真っ先に咲く」からきているともいわれる。



◇足元に楽しみを見出す

実は今、2年任期でマンション管理組合の庭園植栽の担当理事になったこともあり、30数年ぶりに周囲の植栽管理に精出しているが結構新たな発見や人との出会い、つながりもあり面白い。イベントは中止がお決まりのコースとなっているが、オープン草刈りデーの月一実施やドングリ拾いイベント、花木ガイドマップ作成、腐葉土作りなどいろいろアイデアも出て野外活動ができている。またこの4、5年棚上げされてきた、70本以上の中高木間伐やサクラ並木インターロッキング舗装通路の凸凹補修工事なども本年1～3月に何とか実施することができつつあり、住まいの環境も、新たな局面を迎える第一段階を踏み出すことができた。

このマンションが建てられすでに43年が経過し、構内の緑地のあり方も大きく変わり、当初芝生と中低木が散在し開放的だったものが、今やケヤキや常緑樹中心にうっそうと覆われ上空1万メートルから俯瞰すると緑豊かな空間を作っているわけだが、居住者目線から見ると暗く、丈夫な常緑樹などの画一的な樹種中心となり画一的で多様性が失われてしまって、決して歓迎する光景ではなくなってしまっている。

◇緑地から庭園への活動

そこで、緑あふれる単調な緑地から色どり豊かで皆が楽しめる庭園へ、を合言葉に、庭園への環境整備を図ろうとしている。そのためにも現状の樹木の履歴をこの際きちんと整理しておこうと、構内の花木のリスト作りをしており、すでに115種ほどの樹木があること、中にはウメモドキやジンチョウゲ、ハクチョウゲ、ヤマブキなど消滅してしまった樹種もあり、代わりに丈夫なオオムラサキ（ツツジ）をはじめとしたツツジ類、シャリンバイ、アベリア、ヒイラギモクセイなどが生垣として植えられてきたことがわかった。

しかも希望の低木を植えても、中高木の根との競争や夏の乾燥に負けてしまいかねず、遮根シートで保護したり、花壇の世話のように手間かけた継続的なケアが必要なことが分かり、庭園業者任せにしたままでは、すなわち居住者のイニシアティブなしには上手くいかないことが分かった。

◇花木の名札付けで居住者関心を

そんなわけでまずは居住者に花木に理解と関心を持ってもらうことから始めようと、まだ名札が付い

てない花木に針金で取り付ける補完作業への参加をオープンで呼びかけ、楽しみながら、花木に関心を持ってもらい、併せてどんな花がいつ咲くのか想像をたくましくしてもらい、親しんでもらおうという主旨で、2月5日（土曜）午前10時からオープン参加方式「ちびっこも大人も大歓迎」とポスター掲示で居住者に花木名札付け活動への呼びかけ、ラミネート加工で手作りの名札を作った。当日は親子連れなど20名の参加があり、樹木とその花の写真ガイドを参加者にプレゼントした。

2月20日（日曜）には第3回植栽見学会も開催し、こちらもオープン参加方式で、樹木医の資格を有する庭園業者に案内・解説をお願いし、緑地から庭園化に向けて、現在常緑樹を中心に中高木の間伐が進む、変貌する中庭を中心に、人の目線にある低木の花木の種類、生育環境、今後の庭園の在り方を皆で見て歩いた。当日は朝からあいにくの雨だったため、集まりは9人とどまったが、集会所での勉強会とこれから植えたい希望樹木名を挙げてもらうアンケートを実施し、途中から構内散策の見学会となった。

次回4月開催の春の花が咲き誇る時期に開催予定の第4回植栽見学会につなげていこうという狙いだ。こんな折ではあるが、庭園植栽理事として、野外活動を次々にしかけ、けっこう楽しんでいる自分がいる。

◇DX化の流れが加速

保険とデジタルテクノロジーを融合させた流れは今後、さらに加速化していくのは必至だ。それは従来の保険の範疇を超え出ることになり、保険会社も今後の成長分野をデータサービス事業分野に求め、新たなビジネスへの取り組みを急ピッチで進めているわけだ。

保険会社のビジネススタンスも従来のビジネスモデルを変革しなければという時代となっている。従来のまさかの時の金銭的支払い、事後のサービスを中心とした保険サービスの枠から大きく踏み出し、データ、デジタルを活かし、事前、予防、リスクケア、顧客の見守りを軸にしたデータサービスのビジネスモデルへの転換を図ろうとしつつある。

保険会社は、顧客本位の業務運営の徹底の一環で、従来の現場募集人（代理店）任せにしてきた顧客対応のスタンスを改めてきたが、今やマーケティングを含めビジネス戦略的に、顧客データの収集の大事さを認識し、データサービスを基本としたビジネスモデルへの転換を図ろうとしつつある。

DX化が一段と加速化する中で、保険代理店という人介在型ビジネスモデルもデジタルを生かしてどんな新たなビジネスモデルを創造していくのか、が問われる時代になっている。



◇組込型金融の保険版

最近、家計簿アプリやスマホ決済など、アプリの簡単操作で従来面倒な手間暇がかかっていた給与振り込みや振り込み取り消しなどの銀行取引業務が金融機関以外の企業が金融サービスを自社で取り扱い、スマホで瞬時に簡単に自動化できる仕組みのエンベデッドファイナンス、組込型金融が話題になっている。この仕組みの背後には銀行APIの公開がある。

この保険版すなわち組込型保険も取りざたされるようになってきている。すなわち保険専門外のいろいろな異業種の事業者の商品やサービスに保険が組み込まれて提供されるケースが改めて注目されてきている。

従来から、異業種の企業が保険代理店となり本業の事業と親和性の高い保険を扱ってきている。例えば自動車ディーラーの自動車保険、銀行の住宅ローンがらみの火災保険、旅行業者の旅行傷害保険、クレジットカードに海旅などの保険付きなどだ。いわば提携カードサービスの進化版で、その点では何も新しいことでもない。

これまでとの違いは、デジタル化の流れの中で事業者のプラットフォームに保険を組み込んで展開する組込型保険いわゆる「エンベデッド・インシュアランス」が台頭してきていることだ。

顧客が商品やサービス購入の際のキャンセル保険など不安要素を取り除き、顧客の商品・サービス購

入の背中を押す役割を期待して、保険を組み込み、シームレスに簡便な手続きで加入できる仕組みだ。このため、組込型保険の対象となるのは簡便・シンプルで透明性が高く（商品内容の説明が要らない）ローコストの保険商品が適しており、顧客が自分で単独で入るにも面倒臭く既存代理店などからは取り扱いきく、世の中にあるサービスが十分に届いていない「アンダーサーブド」な市場で、新たな保険ニーズ開拓にもつながるため、熱い視線が送られているのだ。

◇顧客のデジタル体験価値の向上

顧客サイドもアマゾン等によりオンラインショッピングに慣れてくると必要な時に必要なものを必要だけ簡便かつ合理的に購入したいというデジタルベースの顧客体験価値の提供を当然視しつつあり、こうした顧客体験価値の向上が、保険手続きにおいても求められて来ている点は留意する必要がある。

組込型保険の展開には、顧客のデータをリアルタイムで取得したり利用したりする仕組みが整わなければ無理な話だが、こうした条件も整備されてきている。またこうした組込型保険を支える新規参入型のデジタルプラットフォームが台頭してきており、APIやクラウドサービスなどのシステム基盤提供により組込型保険開発に大きな役割を果たしていることを見落としてはならない。

各保険会社とも、DX対応を迫られる中で、異業種の商品やサービスに保険を組み込みデジタルプラットフォーム上でシームレスに販売する新たな機運が高まる中で、今後どのような対応をとるのだろうか。

◇RPAなどによる代理店のDX対応

DX対応が求められる中で、顧客との接点領域におけるデジタル体験価値の向上は必要になっている。ホームページの作成からユーチューブなど動画の活用、などのコミュニケーション手段の多様化、はもちろんだが、まずはデジタルを活用した体制整備が求められる。

デジタル技術の活用、ITの活用は、保険代理店の業務にも大きな変革を今後与えることは間違いない。中でも代理店の生産性を向上させるためには、事務と営業の役割の見直しは必須である。組織内情報共有としては、グループウェアの活用やRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）の戦略的活用が必要になっている。

とりわけ、代理店の内務事務の大きなウェイト（業務量全体の8～9割といわれる）を占める更改・更新業務などの自動化も、今後代理店経営の生産性アップに欠かせない課題だ。代理店の中核業務である更改業務の大部分は、単純なコピーや繰り返される印刷などの作業が占めており、ITを活用できれば、さらに大幅に自動化・効率化が進むはずだ。

すでにRPAを、専門業者との連携や、独自の専任RPA要員を確保して開発・展開している代理店も出始めているが、いずれも事務の生産性を上げたのにとどまらず営業成果にも結び付けている。

これらの業務にはITを活用する場合には、ある程度のITスキルが要求されるが業務フローを理解しITスキルを持っている要員の確保・養成が今後重要なポイントになってきそうだ。

代理店にとり取引保険会社が違えど、契約更改・更新業務のスタイルは左程変わりが無いため、現場代理店が独自に開発し始めている、代理店の事務効率化に向けた、RPAを活用した定型業務のロボット化、自動化の活用も今後、代理店のDX対応で注目を集める一つの課題である。

（保険ジャーナリスト、inswatch 編集人）

清須宿（清須市）から新川橋へ

美濃路は、清須宿から五条川にかかる五条橋を渡ります。

室町時代、清須には室町幕府管領で尾張守護斯波氏の清須城がありました。斯波氏は京都の屋敷が五条にあったため「五条殿」と呼ばれていました。そこからこの橋を五条殿橋、さらに五条橋、そしてここを流れる川を五条川というようになりました。のち清須城は、信長が根拠地としたのはいうまでもありません。



（五条川）

美濃路は五条川を渡し、すぐ南下します。長者橋東交差点を過ぎると、まもなく小さな交差点角に日吉神社と刻まれた石柱が見られます。ここから300メートルほど東にある日吉神社を案内するものです。

日吉神社は、宝亀2年（771）、当時流行った疫病退散を願い大乙貴命（おおなむちのみこと）と素盞鳴命（すさのおのみこと）を祀ったのが始まりです。さらに天正8年（1580）、織田信長が近江坂本の日吉大社から大山咋神（おおやまぐいのかみ）を勧進しました。元亀2年（1571）に比叡山延暦寺と日吉大社を焼討ちした、あの信長なのです。信長は日吉大社を許したのでしょうか。ちなみに信長は勧進した2年後の天正10年に、本能寺の変で明智光秀に討たれています。そうそう、この神社には豊臣秀吉の母が祈願したところ秀吉が誕生という伝承があります。

美濃路に戻ります。県道127号と合流し名鉄本線を潜り、巡礼橋東交差点を過ぎコンビニがある小さなT字交差点を東に曲がり、丸之内郵便局を過ぎ1軒目の交差点を南に曲がります。この枡形ともいえるクランク状の道は、どこの街道でも見られます。

近くには名鉄丸ノ内駅があります。このあたりは清洲城の丸ノ内があったところといわれ、丸之内郵便局同様そこから名づけられたのです。

さて、美濃路はまもなく、家康の四男松平忠吉（清須城主）が母の菩提を弔うために慶長8年（1603）に建立した浄土宗正覚寺に着きます。境内には須ヶ口一里塚にあった津島を案内する道標や、桶狭間の戦いに勝利した信長が今川義元の首を供養した今川塚があります。



（一里塚川と須ヶ口一里塚跡）

正覚寺を離れた美濃路は、下外町交差点を過ぎ、暗渠になった細い一里塚川に架かる小さな一里塚橋に着きます。ここにかつて須ヶ口一里塚がありました。現在は石碑が見られます。

さらに美濃路は、須ヶ口一里塚跡から名鉄津島線を渡し、昔ながら町並みの中を孤を描くように東へ進むと、名鉄須ヶ口駅に至る交差点に着きます。この交差点のすぐ東の南側に、かつてあったのが今川塚で、平成19年に、さきほどの正覚寺に移転されたのです。

美濃路は、まもなく新川に架かる新川橋に着きます。

ホームセキュリティの新提案

HOME ALSOOK
みまもりサポート



安心を高齢者の皆様へ



ALSOOK 日本ガード株式会社

本 社：岐阜市茜部中島2丁目66-6
U R L：http://www.nihonguard.co.jp

電 話：058-274-0110
e-mail：eigyounihonguard.co.jp

ダメージカー(事故車・中古車)のご売却はタウにご相談ください

査定無料・迅速対応 ▶ 抹消・名義変更も確実 ▶ 車両の引取・処分も無料

タウがダメージカーを高価買取できる理由

世界には、事故や故障で壊れてしまったダメージカーを元の姿に修復し、再利用する文化が根付いた国々があります。タウは、このようなダメージカーに対する旺盛な需要が存在する世界100ヶ国以上に販売マーケットを拡大してきました。世界中のダメージカーマーケットを把握しているからこそ、「ダメージカーの高価買取」が可能なのです。



株式会社タウ名古屋支店 TEL:052-930-6711 FAX:052-930-6712

愛知県名古屋市長区葵1-19-30 マザックアートプラザ10F E-mail:NAGOYA@tau.co.jp



- 本社：さいたま市中央区新都心11-2 LAタワー10F ●事業内容：事故車・中古車、自動車部品、ボート等の買取・販売・輸出
- 資本金：1億円 ●従業員数：336名(2013年9月末) ●売上高：156億円(2013年9月期)
- ネットワーク／札幌、盛岡、仙台、水戸、高崎、埼玉、千葉、西東京、横浜、金沢、浜松、名古屋、大阪、神戸、広島、高松、福岡、熊本／プリズベン、ウラジオストク、ドバイ





創業50余年。実績でお応えいたします。

株式会社 **ゴトウ自動車ガラス**

自動車ガラスのコトならプロにおまかせ!!

くるまのガラス 救急隊!!

フロントガラスを取り替えるなら、
当社オススメ、夏も冬も大活躍。燃費もよくなります。
エンジェルガード/クールベール



**見積無料
出張サービスOK**

ガラス交換
ガラスリペア
カーフィルム
カッティングシート
ウォータースポットとり



日本自動車ガラス販売施工事業協同組合
JAGU認定
国土交通省支援試験 一級取得
(JAGU:日本自動車ガラス販売施工事業協同組合)

取扱メーカー
AGC
旭硝子株式会社
NSG
GROUP
日本板硝子株式会社
セントラル硝子株式会社

看板制作も承ります。
フルカラーのインクジェット印刷からカッティングシートまでご利用目的により、デザインから取付までお任せ下さい。

詳しくはホームページで
<http://www.gag-jp.com>

■本社 岐阜県多治見市池田町2-48
TEL:0572-22-0175
FAX:0572-23-3510

■多治見店
岐阜県多治見市池田町1-41
TEL:0572-22-0175(代)
(TEL対応可能)
FAX:0572-23-3510
営業時間 8:30~18:00
日・祭日 9:00~17:00

■美濃加茂店
岐阜県美濃加茂市本郷町6-116
TEL:0574-25-2390
(TEL対応可能)
FAX:0574-25-1710
営業時間 8:30~18:00
定休日 日・祝日定休

■恵那店
岐阜県恵那市大井町宮之前1116-36
TEL:0573-26-2611
(TEL対応可能)
FAX:0573-25-4183
営業時間 8:30~18:00
定休日 日・祝日定休

■高山店
岐阜県高山市下切町169-2
TEL:0577-33-4306
(TEL対応可能)
FAX:0577-33-4307
営業時間 8:30~18:00
定休日 日・祝日定休

**機
動
力**

24時間365日
迅速フル対応

いつでも、
どこへでも、
トラブル現場へ。



岐阜本社 岐阜市柳津町南塚4丁目249
本荘営業所 岐阜市敷島町9丁目1-1
岐阜羽島営業所 羽島郡笠松町門間750
岐阜北営業所 岐阜市津島町3丁目57



至急 GO! レスキュー

事故・故障・レンタカーのご用命は



0120-495-039

有限会社 **イブカ**

岐阜本社 岐阜市柳津町南塚4丁目249

TEL:058-388-5678 FAX:058-388-5679

< 今月の復旧事例 >



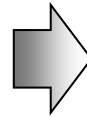
交差点内事故でガードパイプにぶつけてしまいました。

ここだけ支柱の基礎が置き基礎でした。

< 場所 > 岐阜 地域



施工前



施工後

岐阜県損害保険代理業協会 提携会社

一級建築士在籍の ホームステップ (株)イケダ

☎ 058-271-6788 (24時間即日対応)

情報ツールとして【クルマの下取り・買取りサービス】をご活用ください！

★★★ ディーラーの査定とは違い、実際の中古車取引相場で査定します。

車によっては、年式・キヨリに関係なく需要があり、大きく金額に差が出ます！ ★★★

【お客様のこんなときにご利用ください！】

- 車の乗替を検討 : 下取り額が納得できない。下取り額は妥当なの？
⇒ 「ディーラー下取りと比較してみてください！」
- 売却だけ検討 : どこに売れば？ 高くて信頼できる会社に売りたい！
⇒ 「賛助会員のJCMにお任せ下さい！」
- ディーラーでは値が付かない・・・ : 引取費用が掛かると言われた。
⇒ 「古い車や事故車でもまずはご相談ください！」



【岐阜県損害保険代理業協会 賛助会員のJCMなら安心満足！下取りよりもお得】

- ・宣伝・店舗等運営コストを抑えて買取り価格に還元、高価買取りを致します。
- ・無料出張査定で手間や費用発生の心配がありません。ご指定場所まで訪問します。
- ・中古自動車認定査定士（当社社員）が査定にお伺いし、対応いたします。
- ・売却を急かしたりせずお客様のご都合・代替のタイミングに合わせて対応します。
- ・車両代金は現金決済も可能、名義変更手続きも無料で確実に行います。

■■ 株式会社JCM名古屋支店 ★担当 村瀬・山本 まで ■■

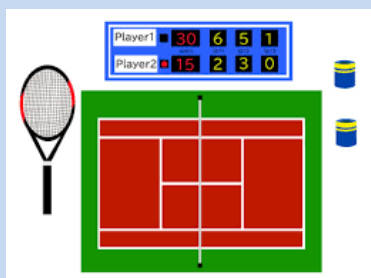
TEL:052-561-8899 / FAX:052-561-8893 HP: http://www.jcmnet.co.jp/daikyo/

会員投稿記事 『新たなる！』

新たなる年を迎えてもう2ヶ月近く経ちました。色々今年も行動制限のかかる今日この頃ですが、私自身はというと、昨年末からまた新たにテニスを始め、そして、スポーツの為初めてコンタクトレンズを作りました。両方とも試行錯誤しながらも初めてのことに挑戦するのはいつになっても楽しいものですね！

さて、そんなテニスですが、カウントの仕方が独特ですよ。中世のヨーロッパで銅貨を賭けてやっていた、その単位が15秒で、60秒になった方が勝ちということでカウントが15刻みなんです。では、なぜ現代テニスのポイントが15→30→45ではなく、15→30→40なのか、それは単純に45（フォーティーファイブ）の発音が長いからやめただけなそう。確かにテニスを始めて自分でカウントすると長いのは、はしよりたくなりますよね。皆さんも体に気を付けながら何か新しいことに挑戦すると新たな発見と出会えるかも！

(岐阜支部 棚橋 健久)



支部活動報告

【岐阜支部 2月役員会開催報告】

開催日時 : 2022年 2月22日 (木) 13:00～
参加者数 : 10名

開催場所 : Zoom 開催
報告者名 : 棚橋 健久

【中濃支部 2月例会開催報告】

開催日時 : 2022年 2月 8日 (火) 10:30～
参加者数 : 5名

開催場所 : 太田交流センター
報告者名 : 丸野 博文

①2022年度総会について 4月8日 (金) 昇月 (予定) にて ②委員会報告 ③役員改選

※次回例会 2022年 3月 8日 (火) 10:30～ 太田交流センターにて

【東濃支部 2月幹事会・例会開催報告】

開催日時 : 2022年 2月 9日 (水) 11:00～ 幹事会、11:30～ 例会
開催場所 : とんかつ遊庵 参加者数 : 10名 報告者名 : 虎澤 省吾
幹事会・・2022年度 総会について 4月14日 (木) 11:00～ みわ屋にて

通常通りの総会の開催を予定 (3月末のコロナの状況によりリアル、ハイブリットの開催判断)

例会・・ ①ファブリカより案内、②委員会報告、③2022年度 役員案について

※次回例会 2022年 3月10日 (木) 11:30～ みわ屋にて

【飛騨支部 2月活動報告】

開催日時 : 2022年 2月 8日 (火) 11:30～
参加者数 : 9名

開催場所 : ひだホテル来来飯店
報告者名 : 馬場 浩之

発行日/2022年 2月25日

責任者/遠藤昌克

発行/広報機関誌委員会

〒501-0204 瑞穂市馬場春雨町 1-50-2 Tel 058-329-0050 Fax 058-329-0040

E-mail : gfdaijyo@opal.ocn.ne.jp <http://gifudaikyo.or.jp/>

【編集室メンバー】

徳永 徹、高橋 励、馬場浩之、後藤哲裕、小林一嗣、宇野美佐、田口友喜、遠藤昌克、森 信彦